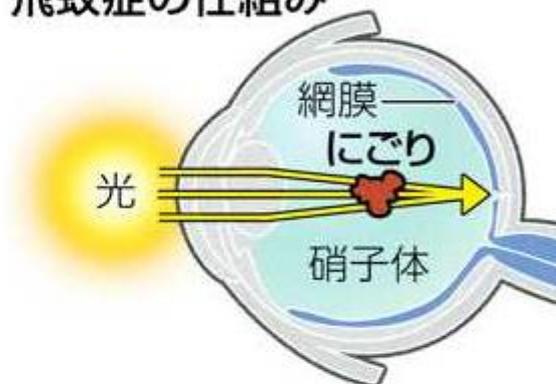




明るいところや空を見つめると、目の前に糸くずや虫のような浮遊物が飛んでいて、視線を動かしてもついてくるように見えることがあります。この症状が飛蚊症です。四十〜五十代で増えますが、ほとんどは加齢などが原因の生理的飛蚊症で病気ではありません。眼球の大部分は、硝子

⑥2 飛蚊症(眼科)

飛蚊症の仕組み



網膜に映り、眼球の動きとともに揺れ動いて、浮遊物が飛んでいるように見えるのです。

体というゼリー状の透明な物質が詰まっています。この硝子体の中に、にごりが生じると、影が

にごりは生まれつきの人にもいますし、加齢などで硝子体が縮んで起きる場合もあります。にごりがあっても自覚症状がないこともあり、生理的な場合は様子を見ます。しかし、まれに網膜の病気で飛蚊症が起きるこ

中日病院 名古屋市中区丸の内3の12の3。 中日病院 052(961)2491

とがあります。網膜に穴があいたり、はがれたりして、失明につながるため、レーザーや手術での治療が必要です。飛蚊症が急に出た方は眼科で眼底検査を受けるといいでしょう。(小林加寿子眼科副部長・談)

硝子体ににごり、網膜に影